

# 1. アンケート調査の概要

## (1) 調査目的

「三方良しの公共事業改革推進国際コンファレンス2009」への参加目的、ワンデーレスポンス、三方良しの公共事業改革、TOC-CCPM手法などの印象および導入意欲を探り、今後の可能性と活動の方向性を判断する参考資料とする。

## (2) 調査方法

記入式アンケート調査(会場「シェラトン都ホテル」で実施)

## (3) 調査対象

国際コンファレンス 2009 参加者 381名(申込者数263名)

国内参加者340名(受付通過者290名・受付不通過者30名・講演者14名・来賓6名)

海外参加者 41名(受付通過者37名・来賓4名)

(受付通過者内訳)

受付通過者	327名	公務員	101名
受付不通過者	約30名	建設業	61名
当日参加者	64名	情報・通信	45名
講演者	14名	製造業	24名
来賓(国内)	6名	サービス業	19名
来賓(海外)	4名	支援団体	16名
		個人	5名
		建設コンサルタント	5名
		学術機関	5名
		資材販売・商社	3名
		運輸業	2名
		リース・レンタル業	1名
		不動産業	1名
		小売業	1名
		鉱業	1名
		海外コンサルタント	37名

昨年は建設業が39.5%、公務員が40.1%と多くが業界関係者と思われたが、今年度は建設業が18.7%、公務員が30.9%となり情報・通信が13.8%、製造業が7.3%と他産業のTOC実践者またはTOCを実施しようとしている幅広い産業界からの参加が増加していることでTOC-CCPM手法の全国的認知度が高まり、三方良しの公共事業を広くアピールする場となったと思います。

#### (4) アンケート数(アンケート回収数と回収率)

	来場者数	回収数	回収率
アンケート	381	123	32.3%

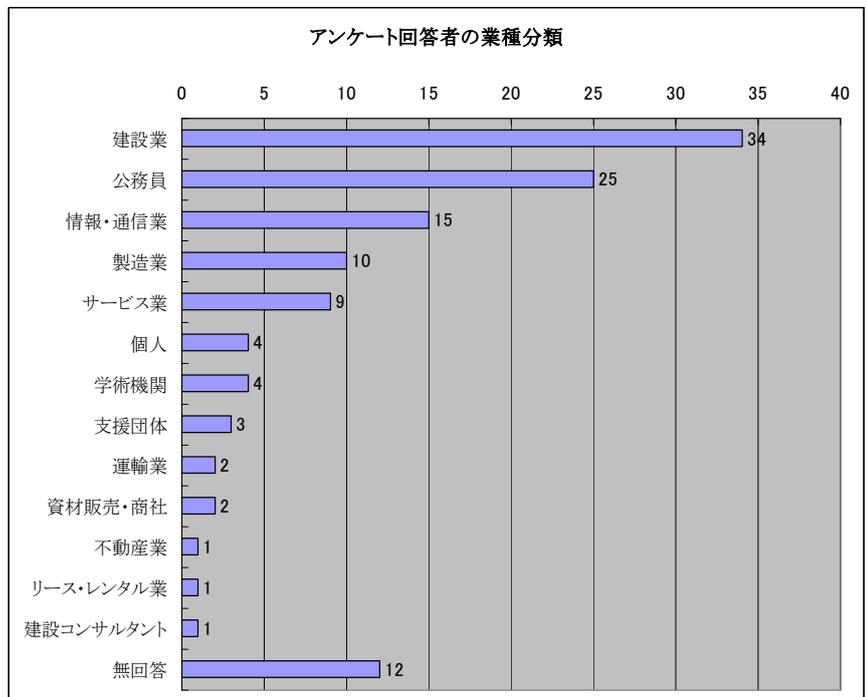
#### (5) 実施日

平成21年11月20日

#### (6) 回答者の業種

昨年は60%が建設業、公務員が20%と業界関係者が上位となっていたが、今回のコンファレンス2009は建設業が27.6%、公務員が20.3%、情報・通信が12.2%、製造業が8.1%となっている。

建設業	34名
公務員	25名
情報・通信業	15名
製造業	10名
サービス業	9名
個人	4名
学術機関	4名
支援団体	3名
運輸業	2名
資材販売・商社	2名
不動産業	1名
リース・レンタル業	1名
建設コンサルタント	1名
無回答	12名



## 2. アンケート調査結果のまとめ

### (1) 各アンケート項目の回答数と回答率

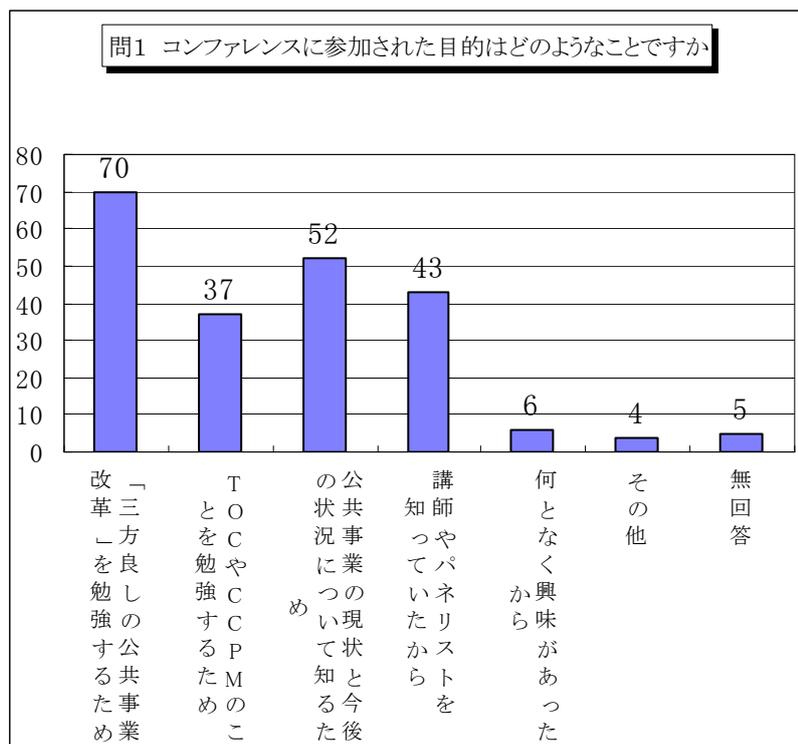
アンケート項目		回答数	無回答	回答率
問1	コンファレンスの参加目的	212	5	97.7%
問2	ワンデーレスポンスの期待効果			
2-1	手持ち時間の短縮と利益の増加	122	1	99.2%
2-2	受発注者間のコミュニケーション向上	122	1	99.2%
2-3	技術の伝承と人材育成	121	2	98.4%
2-4	目標設定による社員への動機付け	121	2	98.4%
2-5	一般市民へのイメージアップ	120	3	97.6%
問3	三方良しの公共事業改革について			
3-1	工物品質の向上	119	4	96.8%
3-2	工期短縮による利益増加	119	4	96.8%
3-3	受発注者間のコミュニケーション向上	120	3	97.6%
3-4	目標設定による社員への動機付け	118	5	95.9%
3-5	一般市民へのイメージアップ	119	4	96.8%
問4	TOC-CCPM手法の有効性	119	4	96.8%
問5	次回のセミナー参加意向	123	0	100.0%
問6	その他要望等	48	75	39.0%
問	研究会入会希望	381	12	3.4%

- ・ コンファレンスの参加目的の第一位は『「三方良しの公共事業改革」を勉強するため』が32.3%、第二位が『公共事業の現状と今後の状況について知るため』が24%となっている。
- ・ ワンデーレスポンスの期待度調査については、『手持ち時間の短縮による利益増加』、『受発注者間のコミュニケーション向上』については多くの人が期待している。
- ・ 三方良しの公共事業改革の期待度調査については、『品質の向上』、『工期の短縮』、『受発注者間のコミュニケーション向上』、『目標設定による社員への動機付け』については多くの人が役立つと感じている。
- ・ 自社内でのTOC-CCPM手法の有効性については『有効だと思う』と感じている人が29.3%、『有効と思うが別な障害が生じる』と感じている人が65.9%となっている。
- ・ 次回以降のセミナー参加希望者は参加した95%の人が次回も参加を考えている。
- ・ 三方良しの公共事業推進研究会に入会したい希望者は12名である。

### 3. アンケート調査結果の詳細

#### (1) コンファレンスの参加目的

問1. コンファレンスに参加された目的はどのようなことですか。【〇はいくつでも】



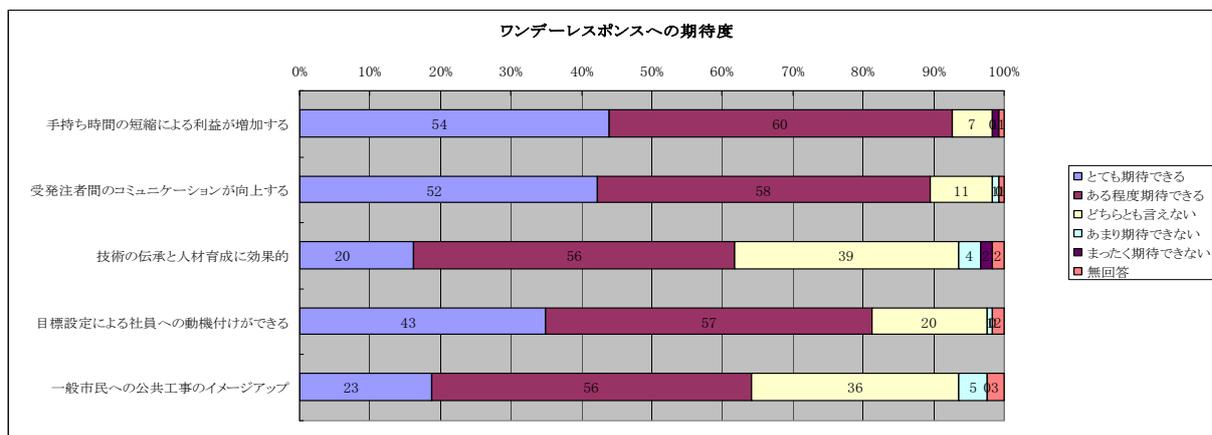
<その他の内訳>

社内上司に薦められたから  
雰囲気を感じ取るため  
社長の要望  
会社の紹介

フォーラムの参加目的は、第一位に『「三方良しの公共事業改革」を勉強するため』が70名で32.3%、2位は『公共事業の現状と今後の状況を知るため』が52名で24%となっている。

## (2) ワンデーレスポンスに対する期待

問2. 『ワンデーレスポンス』により、次の(1)～(5)についてどの程度期待できると思いますか。【○はひとつずつ】



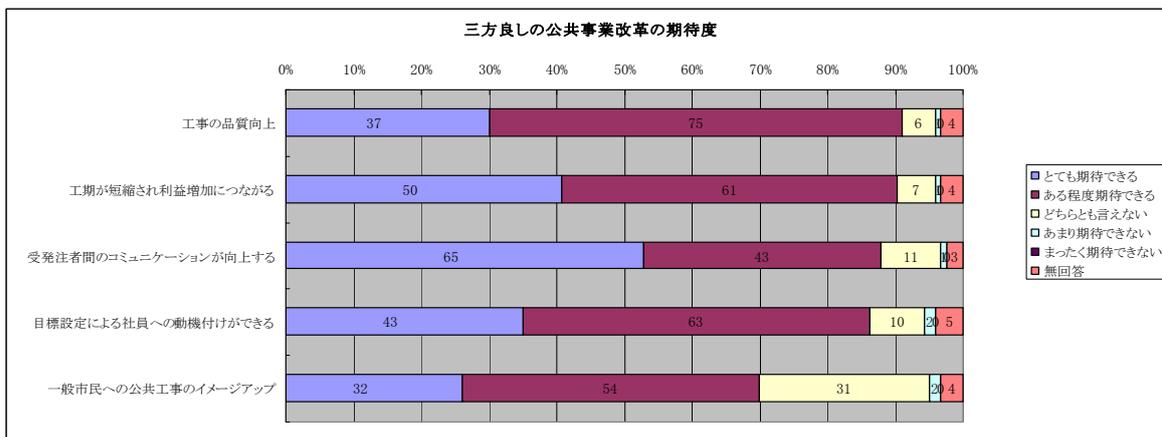
【人数】

	とても期待できる	ある程度期待できる	どちらとも言えない	あまり期待できない	まったく期待できない	無回答
手持ち時間の短縮による利益が増加する	54	60	7	0	1	1
受発注者間のコミュニケーションが向上する	52	58	11	1	0	1
技術の伝承と人材育成に効果的	20	56	39	4	2	2
目標設定による社員への動機付けができる	43	57	20	1	0	2
一般市民への公共工事のイメージアップ	23	56	36	5	0	3

ワンデーレスポンスの期待効果についてはどの質問でも『とても期待できる』、『ある程度期待できる』と答えている人が多く、ワンデーレスポンスを受発注者間が協力し実践することで次につながる効果があると予測している人が多いということが結果より感じる事ができる。

### (3)『三方良しの公共事業改革』の期待効果

問3.『三方良しの公共事業改革』について、次の(1)～(5)についてどの程度役立つかと思いますか。【○はひとつずつ】



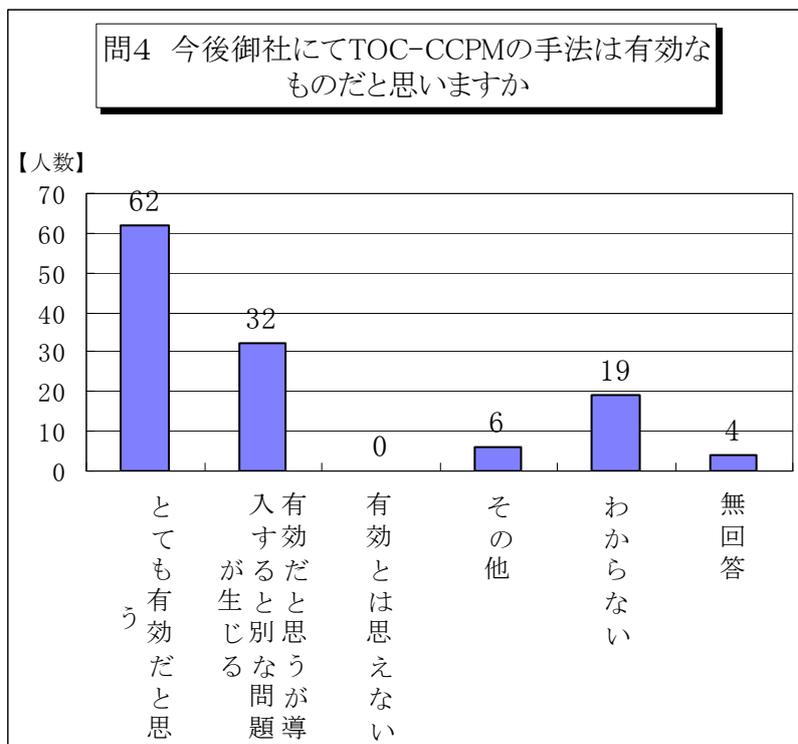
【人数】

	とても期待できる	ある程度期待できる	どちらとも言えない	あまり期待できない	まったく期待できない	無回答
工事の品質向上	37	75	6	1	0	4
工期が短縮され利益増加につながる	50	61	7	1	0	4
受発注者間のコミュニケーションが向上する	65	43	11	1	0	3
目標設定による社員への動機付けができる	43	63	10	2	0	5
一般市民への公共工事のイメージアップ	32	54	31	2	0	4

三方良しの公共事業改革については、どの質問でも『とても期待できる』、『ある程度期待できる』と答えている人が多く、国民の期待効果も大きいと感じることができる。

#### (4) 自社内でのTOC-CCPM手法の有効性について

問4. 今後御社において『TOC-CCPM』の手法は有効なものだと思いますか。【○はひとつずつ】



<その他の内訳>

概ね有効であると思う  
分からなかった  
即答は難しい

自社での『TOC-CCPM』手法の有効性については94名76.4%の人が有効であると感じている。しかしそのうち32名26%の人は導入することにより、現在ある課題をクリアしても何か別な問題が発生するのではないかと考えている人がいる。

部内でODSCを作り上げ共通意識を持ち、できるかできないかギリギリの工程を作成し実践することで関係者や上司のノウハウを引き出し、相互の協力関係によりコミュニケーションが高まります。

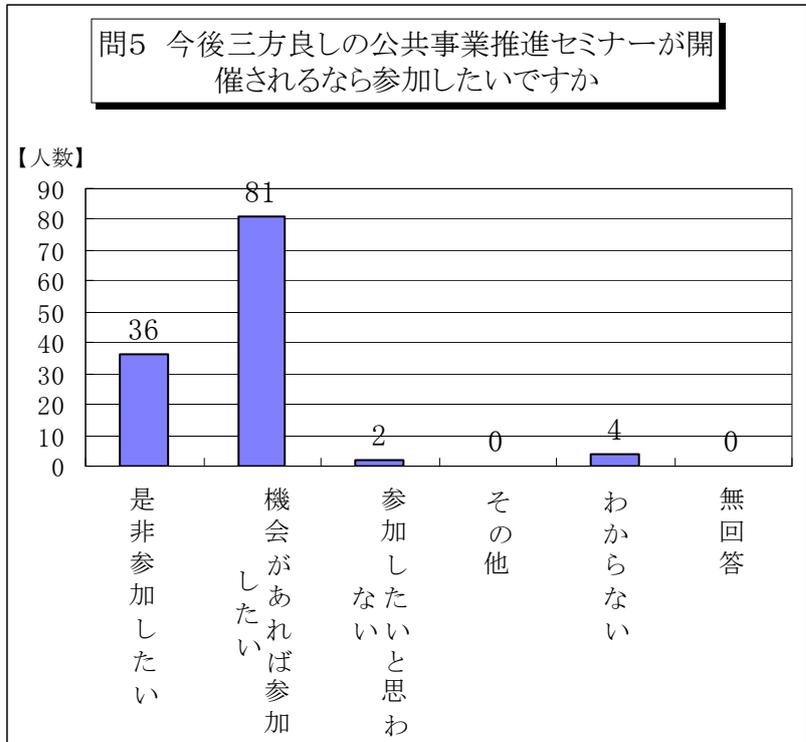
しかしより高い目標を設定するほどプロジェクトに係わる人が多くなります。また前のプロジェクトが成功することで安心してしまい継続的改善のステップを見逃すケースもあり、こういった場合、別な新しい問題が発生するケースも多くなるのではないかと考えています。

安心せず、関係者全員が信頼関係とコミュニケーションを積み重ね、常に継続的改善の5つのステップを忘れず実行するということが大事になってくるのではないかと思います。

(5) 今後の「三方良しの公共事業改革推進セミナー」の参加意向について

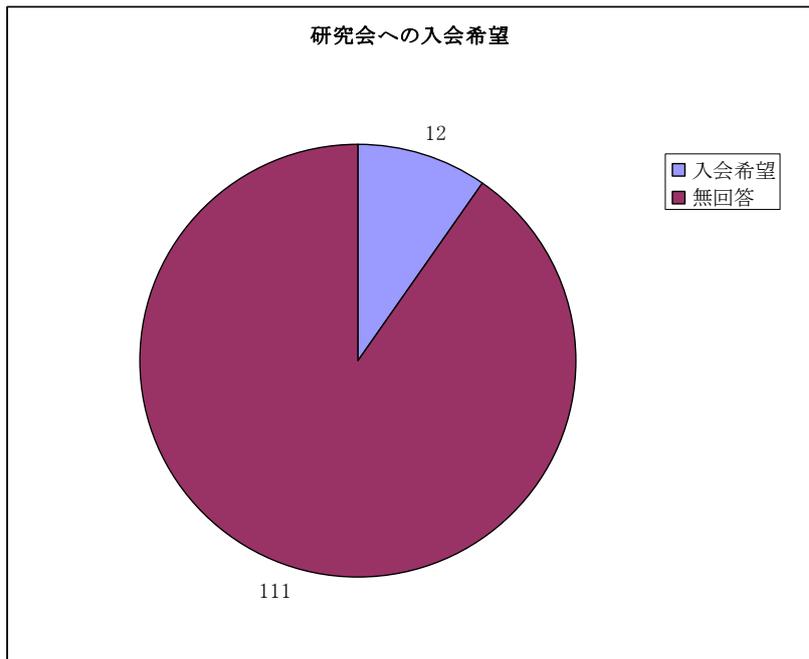
問5. 今後三方良しの公共事業推進セミナーが開催されるなら参加したいですか？

今後のセミナー参加意向については、117名95%の人がセミナーを期待していることがアンケート結果より判断できる。



三方良しの公共事業推進研究会では、全国に活動を展開中です。三方良しの公共事業推進活動に興味があり、研究会への入会ご希望の方は右の□にレ点を入れてください。後日ご連絡いたします。

研究会への入会希望者は12名9.7%が入会を希望している。



## (6)意見・要望

問6. その他（三方良しの公共事業改革推進についての感想など）

No	問6. その他(三方良しの公共事業改革推進活動についての感想、要望など)
1	NEXCO、JR 等民営化したとはいえ扱う施設は公共事業！特にこの2つは政権交代でモチベーションが低下していないか気になる
2	国民や現政権に対する認知活動が必要であることを強く感じました
3	ぜひソフトウェア産業でも生かしていきたいものです。他省にも！
4	大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。
5	民間発注工事でも活用できる。土木だけでなく建築工事に有効と思われる。(建築への水平展開)。建設業の真の問題点の改善には至っていないように思われる。技術的な内容での改善が見られない(工程だけではダメ)。ゴールドラット博士が言うように次のステップを導入することが本来の TOC の内容だろ。
6	製造業のものづくりの基本をベースに成功した事例ですね。大賛成です。「建設業は特別だ」という考えは間違い。「三方良し」という形容詞は分かりやすいけど公的な活動とするにはチョット気になります。
7	ISO の施工マニュアルと CCPM での進め方、どんな風に書いてあるのか、参考までに知りたいです。マニュアル整備に四苦八苦していましたので・・・
8	国土交通省がこのような改善活動を実施していると知り、大変意外で驚きでした。マスメディアで報道されている一面的な見かたでステレオタイプ的に考えていましたが、皆さんの思いと楽しんでいる表情を拝見し私も見習いたいと思いました。ありがとうございました！
9	素晴らしい取り組みです。どんどん拡大・浸透していくことを期待しております。
10	TOC、CCPM に関し、これだけの規模で活用されているのにビックリしました。
11	業界の異なる方々の熱意が感じられ、モチベーションが UP しました。ありがとうございました。
12	私はコンピュータソフトウェアを開発しているシステム会社の者です。公共事業における CCPM の事例紹介、とても感動致しました。ありがとうございます。本日の岸良様発表のスライドをデータで頂くことは可能でしょうか？再度拝見したいページがありました。もし可能でしたらよろしくお願い致します。
13	他の省庁でもぜひ「三方良し」の考え方を広げてほしい
14	組織的な体制が整えばかなり有効だと思います。
15	発注者側としてはワンデーレスポンスできる専門性を備えた人材育成が必要であり若い人に現場を経験させることが重要
16	岸良さんのいろんな人を巻き込んで1つの方向に向かって皆さんの力を発揮させられていく、その魅力が人間力の素晴らしさを改めて実感しました。まさにコミュニケーションの魂のような方だと思います。岸良さんの仲良し会のようにならず今後も発展されることを祈っております。ゴールドラット氏の厳しいコメントはとても良かったです。

17	建設業界以外の例も知りたい
18	TOC の具体的適用がここまで進んでいる！という実感を持ちました
19	縦割りではなく横のつながり、コミュニケーションをとるためのツールとして使えそうな気がしました。活動報告をもっと詳しく紹介してほしいと思います。
20	非常に勉強になりました。ありがとうございました。
21	ご指摘のとおりワンデーレスポンスの手段は知っていても目的は現場の監督員にまで広まっていない。ワンデーレスポンスは目的を達成する手段ではない。ここで学んだ本来の目的を現場に広めたい。
22	貴重なお話を聞く機会を与えて頂きありがとうございました。ワンデーレスポンスのコンセプトは私たちの業界でも必要であると思います。
23	今回初めて参加したため勉強不足もありますが、このような取組みが各所で行われている事を知る事ができよかったですと思っています。活動報告で良い面が多いことはわかりましたがそこまでに行くには苦労もあった事と思いますが、そういった面も聞ければという思いもあります。いずれにしても今後勉強してみたいと思いました。
24	財部さんの講演の中で「国民・住民にもっとPRを」との話はもつともであると思い、このフォーラムも一般参加の人も増えればと思います。
25	是非当社雑誌「建設マネジメント技術」に活動内容をご投稿いただきたいと思っています。
26	ワンデーレスポンス、ご発注者の方の実施。どん底から這い上がれ、いまこそでないといけないぞ！
27	とても意義のある活動だと思いますので益々の活発な推進を期待しています。
28	どんな仕事にもコミュニケーションが大切だが能率アップ、仕事への意欲アップに繋がる取組みについて活躍をしている方々が増えてほしいと思う。資料のパワーポイント作成には1枚1分が望ましいと聞いたので文字を大きくわかりやすくしていただくともっとわかりやすいと思う。
29	活動報告の事例については今回の事例にあたるものと思わないものが多々あったと思う。
30	現在実施していることが多い。前向きに取り組んでいる。(実施中以前より)
31	初めて参加したわけですが、今後三方良しの情報を受けながら仕事に活かし効率的に仕事を進めたい。ゴールドラット氏が言ったようにクリティカルチェーンを活用してうまくいかなかった例を聞き原因を探りたい
32	TOC とか CCPM とかどうゆう意味なのか初心者にもわかるように説明してほしい。工期短縮などにより事業効果の早期発見ができ住民にも良いのは間違いないが企業と行政の視点からしか語られていないので住民視点でどのようなことが感謝されたかなどを入れないと三方良しではなく二方良しなのでは？これから企業と行政が TOC、CCPM などの手法を取り入れ、住民の人にも良いことをしているということを住民に理解してもらい、知ってもらうことが必要。工事現場やその周辺住民への広報を行い、住民からの声・意思を集めて住民に喜ばれるか検証する必要があるのでは？「住民のため」といっても住民に理解、知ってもらわないと企業と行政の自己満足になってしまうと思います。また住民は良いと思ってないと思います。
33	ハードの改善は目に見えるが、ソフトの改善は多種の人々・企業等の文化があり成していくので時間がかかる。実作業を基に着実な進展を期待している。ただ官より民のほうが一歩進んでいると思う。

34	財部さんが話していたようにもっとアピールすべきだと思う。本当は各整備局にその方針を示し指導すべきだと思った。
35	とても効果的な考え方だと思うので興味を持った。インターネット等で調べてみようと思う
36	ゴールドラット博士のコメントは辛口だったが博士にとっては言わざるえない点だったのだろうと感じました。
37	面展開、日本全体最適に繋がっているように感じました。ゴールドラット博士の言うように更なる結果が出るよう期待しています。
38	プロジェクトの設計の思想を現場の末端に伝えることが大事。プロジェクトに係わる全ての人の幸せが目的。ゴールドラット博士の講演が印象に残った。
39	先生にほめてもらう事を目標にするのは大間違いです。主旨が違う！結果ができればほめられるはずです。
40	できる限り広報していきたいと思います。
41	受発注者が本気で取り組めば国民からの信頼を得られると実感した
42	残念ながら大西会長の講演から参加させて頂いたため、特にコメントございません。ゴールドラット博士のコメントが印象深かった。岸良さん、ありがとうございました！
43	TOC で三方良しであると、やらされ感なく自ら進むことを痛感しました。TOC をきちんと実践する気になりました。
44	私は建設業界ではありませんが、他の業界でも使える実施例として参考にしていきたいと思います。TOC の実施例の勉強する立場として研究会に入会しても問題ないでしょうか？
45	整備局単位、事務所単位で説明が出来ると思います。
46	ご苦労様でした。皆様の活躍を期待しています。
47	とても参考になりました。今日の発表資料は手に入るのでしょうか？
48	必要な公共事業は推進しなければ安心・安全はなしとなります。